

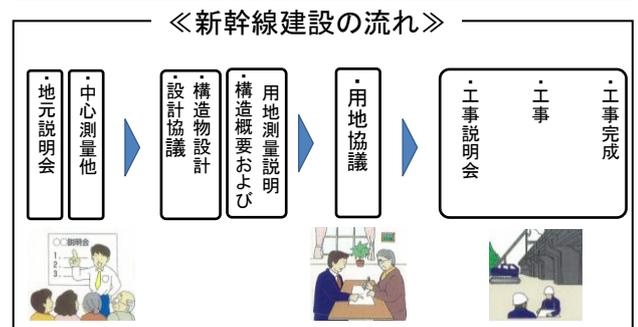


北陸新幹線ニュースレター特別号

北陸新幹線 敦賀までの着工決定

▶ 県内着工決定。開業の早期化に一層の努力

- 6月29日、新幹線の県内着工が決定しました。敦賀開業は平成37年度末が予定されています。大震災を経験し、災害に強い国土構造が求められる中、敦賀までの早期開業は最優先の課題です。北陸新幹線は、東京、大阪間を日本海側でつなぎ、地方重視の国土軸を形成する最重要プロジェクトでもあります。一日も早い敦賀までの早期開業を国に強く要請していきます。
- 建設事業を担当する鉄道・運輸機構は、今年度まず最初に、地元説明会を地区ごとに開催し、測量等についてご協力をお願いしてまいります。この後、関係者と協議しながら高架橋などの構造物の設計を行っていきます。沿線市町と連携し、工事が迅速に進められるよう、円滑な用地取得や各種関連事業との調整・促進を図っていきます。皆様のご理解とご協力をお願いします。



▶ 福井県北陸新幹線建設促進同盟会臨時理事会および沿線7市町長合同会議結果概要

- 平成24年6月29日（金）、北陸新幹線の金沢・敦賀間の工事实施計画が認可されたことを受け、福井県北陸新幹線建設促進同盟会の臨時理事会を開催（沿線7市町長との合同会議として開催）し、知事、県議会議長、県商工会議所連合会、沿線市町長など各界の代表者が出席しました。西川知事は「長年にわたり皆様方が全力で取り組んだ成果。あらゆる知恵と力を尽くして一日も早く敦賀までの早期開業を実現する努力をしていく。そのためには、用地や関係する工事、事業について十分相談しながら円滑に進めていくことが重要。」と挨拶しました。また、会議後の取材では、「国に強く働きかけ、予算の確保などによる工期短縮が極めて重要。新幹線事業をテコにし、地域ごとに元気を出し、観光にしる産業政策にしる、あらゆる面で積極的に取り組むべき。」と述べ、早期開業に向けて県内一丸となっていくことを確認しました。



（ガンバロー三唱）

▶ 変わる生活、広がるビジネス

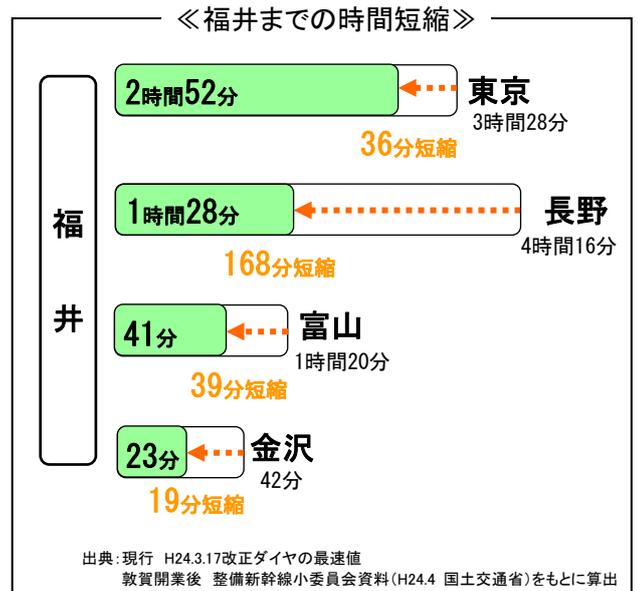
- ・ 新幹線開業により、東京をはじめ沿線地域との時間が短縮し、相互に便利になります。
離れて暮らす家族との往来や、上京、帰省等が容易になります。
- ・ 新しい旅行先が選択でき、滞在時間も拡大し、余暇が充実します。
- ・ 来県者が増加し、観光やビジネスの可能性が広がります。

▶ 元気で魅力ある「まちづくり」を

- ・ 新幹線は、これからの福井の発展のベースとなる重要な事業です。

新幹線をバネに、すべての市や町がこれを活かして、観光、企業誘致などを推進し、元気な地域を創っていくことが大切です。日本の中心に位置する本県の地理的なメリットが、一層発揮できます。

新幹線時代を迎える各都市の再設計など各種プロジェクトを、沿線市町をはじめ、県内各地域が主体的に進められるよう支援していきます。



《県内各駅の写真・イメージ》



▶ 北陸新幹線(金沢・敦賀間)の概要

- 最高速度 260 km/h
- 整備期間 平成24～37年度
- 総工事費 1兆1,600億円
- 工事延長 114 km
- 県内の主な構造物
 - トンネル
 - 柿原トンネル (2.5km)
 - 福井トンネル (3.4km)
 - 新北陸トンネル (20.0km)
 - 橋りょう
 - 竹田川橋りょう (423m)
 - 九頭竜川橋りょう (410m)

出典 整備新幹線の工事実施計画書(H24.6国土交通省)



＜お問い合わせ先＞ **福井県北陸新幹線建設促進同盟会**（事務局：福井県新幹線建設推進課）
TEL:0776-20-0298 Fax:0776-20-0729 E-mail:shinkansen@pref.fukui.lg.jp